

《Lesson 1》 比較級の肯定文

比較とは「これより高い」「彼より賢い」といったような、何かと何かを比べる時に使う言い方で、一般的に文の種類（be 動詞の文、一般動詞の文、助動詞の文など）に関係なく使うことができます。基本の形は“形容詞er + than + ○○” “副詞er + than + ○○” となります。（形容詞er / 副詞er のように形容詞や副詞を比べる形にしたものを「比較級」と言います）

【比較級の肯定文：基本の形】

主語 + 動詞（+目的語） + 形容詞 er + **than** + ○○.
副詞 er

（主語は○○よりも～）

- <例> He is smarter than my sister. （彼は私の妹よりも賢いです）
She studies harder than Naoto. （彼女は、ナオトよりも熱心に勉強をしました）
He can run faster than Tom. （彼はトムよりも速く走ることができます）

【比較級の肯定文：作り方】

ステップ 1：「○○（比べるもの）よりも」という部分を除いて文を作る。

ステップ 2：形容詞／副詞に **er** を足す。

ステップ 3：形容詞**er** / 副詞**er** の後に **than** ○○ を足す。

<例1> 「彼は私の妹より賢いです」という文の場合

ステップ 1：「○○より」という部分を除いて文を作る。「彼は賢いです」

He is smart.

ステップ 2：形容詞に **er** を足す。

He is smarter.

ステップ 3：形容詞**er** の後に **than** ○○ を足す。

He is smarter **than my sister**.

<例2> 「彼はトムよりも速く走ることができます」という文の場合

ステップ 1：「○○より」という部分を除いて文を作る。「彼は速く走ることができます」

He can run fast.

ステップ 2：形容詞に **er** を足す。

He can run faster.

ステップ 3：形容詞**er** の後に **than** ○○ を足す。

He can run faster **than Tom**.

ポイント！「比べるもの (than +○○)」が省略できるケース

文脈上もうすでに「何と比べているのか」が明白な場合は、比べるもの (than +○○) を省略することができます。疑問詞のつく疑問文に答える時などは、よく省略されます。

Why can she swim faster than Kai? (なぜ、カイの方が速く泳げるのですか)

– **Because she practices harder (than Kai).** (なぜなら、彼女はもっと熱心に練習するからです)

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者は一切責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。